

事務事業名		土砂災害特別警戒区域に対する評価見直し業務				<input type="checkbox"/> 事後(中間)評価対象事業			
総合計画	政策名	0:5: 効率的な行財政運営によるまいつくり				所属課	税務課	担当	資産税担当
	施策名	0:3: 健全な財政運営の推進				課長名	柿沼 肇	担当者名	藤井 正典
予算科目		会計	款	項	目	事業	事業コード名	関係法令・条例等	地方税法・固定資産税評価基準
事業期間		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度)				<input type="checkbox"/> 期間限定 (平成 年度～平成 年度)			
事務事業の概要 (事務事業の内容を記載)		<p>1 事務事業概要 町内で土砂災害特別警戒区域(レッドゾーン)に入っている宅地に対し、減価補正をかけた課税する。</p> <p>2 概算事業費 業務委託一式 1,782,000円</p> <p>3 提案理由 これまで宅地の一部にレッドゾーンがかかったとしても、近傍宅地と同じ課税をしていた。レッドゾーンに指定された区域では土砂災害の危険性があり、土地利用制限が設けられるため、減価するのが妥当と考えらる。 なお、県内市町においても前回の評価替えの際にこの補正を導入してした市町が多く、氏家税務署管内で導入していないのは那珂川町と本町のみである。 税の公平性からもレッドゾーンにかかっている土地を確認し、固定資産税を公平に徴収したい。</p>							

(1) 事務事業の目的と指標		(4) 活動指標 (事務事業の活動量を表す指標)	
① 活動の計画(活動の量・大きさ・規模等)	町内のすべての宅地	名称	単位
② 対象(事業は誰・何を対象にしているのかを記載)	レッドゾーンにかかる宅地	ア 町内の宅地数	箇所
③ 目標(この事業によって、対象をどうしたいのか記載)	町民からの固定資産税を公平に徴収する。	イ レッドゾーンの箇所数	箇所
		イ レッドゾーンにかかる宅地数	箇所
		名称	単位
		ア 良かったと答えた人	%
		イ	

(2) 指標・総事業費の推移		単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成32年度 総合計画 最終年度
活動指標	ア	目標値 箇所		8,600				0
	イ	実績値 箇所						0
対象指標	ア	目標値 箇所		50				0
	イ	実績値 箇所		不明				0
成果指標	ア	目標値 %		100				0
	イ	実績値 %						0

計画		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成32年度
投入量	事業費	国庫支出金 千円					0
	財源内訳	県支出金 千円					0
		地方債 千円					0
		その他 千円					0
		一般財源 千円		1,782			0
		事業費計 (A) 千円	0	1,782	0	0	0

実績		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成32年度
投入量	事業費	国庫支出金 千円					0
	財源内訳	県支出金 千円					0
		地方債 千円					0
		その他 千円					0
		一般財源 千円					0
		事業費計 (A) 千円	0	0	0	0	0

評価項目	説明	事前評価結果	実施後の状況	事後評価結果
目的妥当性評価 ① 公共関与の妥当性 なぜこの事業を町が行わなければならないのですか？税金を投入して、達成するものですか？	個人でするものではなく、税を徴収する側で行う事業である。	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり		<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり
有効性評価 ② 着手・実施の必要性 この事務事業をなぜ着手・実施しなければならないのか？先延ばしにできない理由は何か？	評価替えの際に導入すべきであり、次回H30評価替えに間に合わせるよう実施が必要。	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり		<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり
効率性評価 ③ 総事業費の算定根拠 算定にあたってコスト削減策を考えたか？将来のコスト増要因に対して対策が考えられているか？	入札により業者を決定するので、コスト削減になる。	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり		<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり
公平性評価 ④ 受益と負担との関係 事業の内容は受益と負担との公平性が考慮されているか？	受益者(納税者)から負担させるものでない。	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり		<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり

3 事前評価結果

事前評価日： 平成 29 年 1 月 4 日

(1) 事前評価者として判断した今後の事業の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 1次案のまま採択 <input type="checkbox"/> 下記条件で採択 <input type="checkbox"/> 不採択 <input type="checkbox"/> 差し戻し	
(2) 採択条件	(3) 指示事項(事務事業に関する指示、事後(中間)評価日程等)

4 成果検証

事後(中間)評価日： 平成 年 月 日

事務事業実施後の概要 (実施しての効果、受益者等の反応、問題点、課題等を記載)	
--	--

(1) 評価結果(今後の方向性) <input type="checkbox"/> 優(成果大) <input type="checkbox"/> 良(良好) <input type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可(成果なし・中止・計画変更必要)	
(2) 総評	(3) 指示事項
	<input type="checkbox"/> 再評価対象事業